

氏名	吉田 隆	部署	健康開発学科(口腔)	職名	教授
研究分野	臨床歯科医学（歯科保存学）、歯科衛生教育学、歯科医学教育				
学位	歯学士、歯学博士				
学歴	1990年東京歯科大学大学院歯学研究科歯科保存学専攻修了				
経歴	1990年東京歯科大学助手、2000年東京歯科大学講師、2000年埼玉県立大学短期大学部講師、2005年埼玉県立大学助教授(後に准教授)、2011年埼玉県立大学教授				
所属学会（役職）	日本歯科保存学会(評議員)、日本歯科医学教育学会、日本歯周病学会、日本歯科医療管理学会、日本歯科衛生教育学会、東京歯科大学学会				

【2019年度実績】

1. 研究業績						
(1) 著作						
	著作の名称	単・共	ISBN	発行所、全ページ数	著者、編者名	発行等年月
1	該当なし					
(2) 論文						
	論文の名称	単・共	査読	雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ	著者、編者名	発表等年月
1	中学・高校生の口腔保健と食生活に関する意識および実態調査	共著	あり	子ども・教職研究、第3巻、印刷中	林 桜、吉田 隆、安達 奈穂子、品田 佳世子	2020.3
(3) 学会発表						
	学会発表の演題	単・共		学会名、開催都市	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	専門職養成教育の課題、特に高校生にとっての医療職とその養成教育のイメージについて	共同		第38回日本歯科医学教育学会学術大会、福岡市	○吉田 隆、有泉祐吾、大川由一、柳澤伸彰、古澤成博	2019.7
2	地域在住高齢者が自覚するむせ込みの増加と体力低下に関する検討	共同		令和元年度埼玉県歯科医学大会、さいたま市	○佐藤玲子、會田和音、植村友美、吉田隆	2020.2.
(4) その他						
	名称	単・共		発表場所等	発表者（発表者は○印）	発表等年月
1	該当なし					
2. 競争的資金等の研究						
	競争的資金等の名称			研究名	研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	該当なし					
3. 教育業績						
(1) 講義						
	講義の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	臨床歯科医学総論	○	8	口腔保健科学の歯科臨床導入科目として、初心者に理解しやすいよう心掛けた。		
2	口腔保健科学概論		4	口腔保健科学の導入科目として、本専攻における4年間の教育内容の概略を説明し、さらに早期体験実習の部分も担当し、学生のモチベーションの向上を心掛けた。		
3	衛生行政	○	8	社会の仕組みの根幹をなす法律とそれを動かしている行政について理解し、歯科保健医療の専門的担当者としての歯科衛生士の資質を培うことを心掛けた。		
(2) 演習						
	演習の名称	科目責任者	コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）		
1	保存系歯科学Ⅰ	○	17	保存修復学について教授した。日進月歩の歯科材料に対応すべく、なるべく最新の保存修復学となるように心がけるとともに、修復学の沿革の観点から、現在ではほとんど使用されない修復法についても教授した。		
2	保存系歯科学Ⅱ	○	17	本科目では歯髄や根端性歯周疾患などに関わる病変と処置法などの歯内療法学について解説した。実際の歯科臨床現場での症例等も混じえながら、学生の理解度を高めるよう工夫して行った。		

3	保存系歯科学Ⅲ	○	16	歯科衛生士の予防処置業務と密接な関連がある歯周療法学を主とする本 科目では、歯科衛生士が歯科臨床の歯周治療とどの様に関わり実践でき るかに重点をおいて解説した。
4	チーム歯科医療学Ⅳ	○	4	本科目の履修直後から臨地・臨床実習が始まる。実習施設での理解を深 めるため、本科目では「社会保険学」、「病院における連携医療(周術 期口腔機能管理)」、「チーム歯科医療の最新情報」について教授して いる。その中で「社会保険学」の部分を担当した。
(3) 実習				
	実習の名称	科目責任者	学外実習：期間 学内実習：コマ数	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	チーム歯科医療学Ⅲ	○	24	臨床実習の前段階として、実際の臨床で行う歯科診療補助に関する実習 を行った。しかしながら限られた時間数のため、数多い診療補助項目の 中から代表的なものに限られた。
2	臨地・臨床実習Ⅰ	○	2019.10～	3年次における実習前の学内ガイダンスや実習先での学生指導引率を 行った。また登校日には、学内でのカンファレンスを担当した。なお今 年度は新型コロナウイルスの影響により、本科目は未完である。
3	臨地・臨床実習Ⅱ	○	2019.10～	実際に複数の実習施設に出向き巡回ならびに直接学生指導を行った。さ らにそれぞれの実習施設において、休憩時間や実習終了後も学生の相談 に応じられるように極力学生と接触する時間を多くとるように配慮し た。なお今年度は新型コロナウイルスの影響により、本科目は未完であ る。
4	臨地・臨床実習Ⅲ	○	2019.4～2019.7	複数の学外実習施設への巡回を行い、学生の実習状況把握に努めるとと もに、実習施設指導者との連絡調整を行った。
5	臨地・臨床実習Ⅳ	○	2019.4～2019.11	4年次における実習前の学内ガイダンスや実習先での学生指導引率を 行った。また登校日には、学内でのカンファレンスを担当した。
6	臨地・臨床実習Ⅴ	○	2019.4～2019.11	担当する学外実習施設への巡回を行い、学生の実習状況把握に努めると ともに、実習施設指導者との連絡調整を行った。
7	ヒューマンケア体験実習		2019.5.～2019.9	担当施設との事前打ち合わせや学生へのオリエンテーション、実習期間 中の施設への訪問に加え、リフレクション時における学生指導など、グ ループおよび個人に対する指導に努めた。
(4) 論文指導				
	対象		期間	主指導・副指導の別及び指導人数
1	卒業論文		2019.4～2020.1	主指導 1名 副指導 名
(5) その他				
	名称		期間	概要（教育内容・方法等において工夫した点）
1	該当なし			
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会、公開講座等の講師				
	講演会、研修会、公開講座等の名称		主催	講演、研修、公開講座等のテーマ 開催年月
1	公開講座		口腔保健科学専攻	お口からの健康づくり 2019.10
2	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会第10 回学術集会		埼玉県立大学保 健医療福祉科学 学会	はばたけ県立大学 21年目へ ～多職種連携で口から全身 の健康を考える～ (学術集会会長) 2019.10
(2) 国、自治体、学術団体等における委員等				
	国、自治体、学術団体等の名称		委員等の名称	任期
1	全国大学歯科衛生士教育協議会		理事	2011.4～現在
2	全国大学歯科衛生士教育協議会		会長	2019.4～現在
3	全国大学歯科衛生士教育協議会教育・研究連絡委員会		委員	2008.4～現在
4	全国大学歯科衛生士教育協議会編集委員会		副委員長	2019.4～現在
5	東京歯科大学水道橋病院歯科臨床研修医管理委員会		外部有識者委員	2006.4～現在
6	特定非営利活動法人日本歯科保存学会		評議員	2015.6～現在

7	一般社団法人日本歯科医学教育学会	代議員	2019.7～現在
8	日本歯内療法学会ガイドライン委員会	パネリスト	2019.7
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
(4) その他			
	項目	相手方等	内容
1	該当なし		
5. 学内運営			
	項目	内容	期間
1	全学的委員会及びセンター業務等	健康開発学科口腔保健科学専攻専攻長	2015.4～現在
2	全学的委員会及びセンター業務等	口腔保健科学専門科目担当者会会長	2014.4～現在
3	全学的委員会及びセンター業務等	教務委員会(副委員長)	2019.4～現在
4	大学広報活動	高校訪問(2校)	2019.6
5	大学広報活動	高校教員説明会	2019.6
6	大学広報活動	オープンキャンパス担当	2019.6、2019.8
7	学科等における委員会等	ホームカミングデー担当	2019.12
8	学生支援	学生生活の指導	2019.4～2020.3
9	学生支援	就職支援活動	2019.4～2020.3
10	学長指定プロジェクトへの関与	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会第10回学術集会企画運営委員ならびに学術集会会長	2019.4～2020.3
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の取得			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	日本歯科保存学会保存治療専門医、日本歯科保存学会保存治療指導医、歯科医師臨床研修指導医、東京歯科大学水道橋病院臨床准教授		